

# JUST DO IT.

亀岡市立東輝中学校3年生徒指導通信

文責：生徒指導主任 人見 麻友

令和4年4月20日（水）

## 服装点検を行いました。

日頃は本校教育活動の推進に何かとご理解とご協力をいただきありがとうございます。

3年生がスタートして2週間になります。生徒たちは最高学年としての自覚を持ち始め、2年生時とは違った緊張感を持ち、先輩としての心の広がりや責任感が感じられます。授業に対しても、一層真剣な眼差しで取り組もうとする姿が見られます。

また、生徒は明るく素直で、まだまだ幼さが感じられる微笑ましい場面も多く見られます。

クラス替えによる心の変化も自分の力で乗り越え、我々教師も少し安堵しています。

しかしながら、3年生ともなると成長の度合いは大きく、幼さが残るとはいつても、着実に心身共に大きく成長しています。先日、服装点検をした際、身体の成長に伴い制服に若干の修正を加えなければならない生徒が増えてきましたので、以下のような話を致しました。

服装には、「プライベートウェア」「オフィシャルウェア」「フォーマルウェア」があります。

「プライベートウェア」は私服であり、流行や趣味などを取り入れて自由に着る服のことで、自分の好みや価値観などが選ぶ基準となります。

次に、「オフィシャルウェア」はビジネスシーンからスポーツユニフォームなど幅広く、自分の好みだけで着る服ではなく、場所や相手に合わせて着る服のことをいいます。

最後に、「フォーマルウェア」は礼服ともいい、儀式に出るための正式な装いのことをいいます。冠婚葬祭などの儀式に出席する際の正式な服装のことをフォーマルウェアといいます。

つまり、服装には「私服」「公式な服」「礼服」の3種類があるのです。

では、学校の制服はどれにあてはまるのでしょうか。

答えは、「オフィシャルウェア」です。一部、冠婚葬祭時の「フォーマルウェア」の役割を果たすこともあります。オフィシャルウェアである制服は、相手からどのように見えるかが大切で、自分の好みや価値観を取り入れる私服とは意味が大きく異なります。相手に与える印象を大切にするためにズボンの丈やスカートの丈など、すみずみまでルールを守って正しく着ることが大切です。そうすることにより、自らの心も整ってきます。つまり、きちんとした制服の着こなしは、相手に礼儀を尽くしていることにもなるのです。

制服は全体のバランスを考えて作ってあります。ですから、全体のバランスを崩さないように制服を着こなしてください。素敵な着こなしは人に与える印象、礼儀、自身の成長にも繋がるのです。

以上のような内容を学年集会で訴えました。

今年度は、一人ひとりが自分の将来を見つめ、進路選択し、志の実現に向けて努力していかなければならない1年となります。まずは服装を正し、身なりを整えてほしいと思っています。

修正を加えなければならない場合、生徒一人一人にその状況を伝えています。

学校よりご家庭に、服装についてご連絡させていただく際につきましては、指導の趣旨を十分にご理解いただき、ご協力お願い致します。